

## 平成 30 年度 第 1 回 長野市社会福祉審議会 会議録

日 時	平成 30 年 5 月 22 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 00 分
会 場	ふれあい福祉センター 5 階 ホール
出席者	委員 19 名（欠席者 5 名） 事務局 15 名 報道関係者 5 社 傍聴者 0 名
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 諮問</li> <li>4 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 諮問事項                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 平成 31 年度 長野市の保育所等保育料（利用者負担）について</li> </ol> </li> <li>(2) 次期長野市子ども・子育て支援事業計画について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
諮問	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 諮問             <p>加藤市長から次の項目について諮問された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 31 年度 長野市の保育所等保育料（利用者負担）について</li> </ol> </li> </ol>
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 諮問事項                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 平成 31 年度 長野市の保育所等保育料（利用者負担）について 事務局から資料に基づき説明があり、児童福祉専門分科会へ付託された。 【質疑応答】なし</li> </ol> </li> <li>(2) 次期長野市子ども・子育て支援事業計画について 事務局から「長野市子ども・子育て支援事業計画 概要版」に基づき策定についての説明と、今後、国から具体的な指針等が示され、諮問する状況になったところで、8 月ごろを目途に諮問したいと説明があった。</li> </ol> </li> </ol>

諮問の際は、本会を開催せずに委員長が諮問を受けた後、児童福祉専門分科会に付託し、同専門分科会において調査審議することが了承された。

**【質疑応答】**

委員：放課後子ども総合プランについては、本年度から有料化になったことで利用希望者が減ったということはあるか。また、この制度のなかの、留守家庭児童の部分と放課後子ども教室の部分の在り方というのは、計画のなかで今後検討を進めていくことがあるか。

事務局：放課後子ども総合プランは、4月から利用料を頂いている。5月1日時点の登録児童数の確定値は、最終の集計を整理しているところである。昨年度と比較して若干減少すると見込んでいたが、思ったほどの減少は見られないというのが感想である。本日、この後の児童福祉専門分科会でももう少し詳しく説明したい。

次期事業計画策定について、今年度、前回同様に未就学児の保護者4千人を対象にしたアンケート調査に加え、新たに小学校低学年の保護者2千人を対象に、放課後子ども総合プランの利用希望などを把握するためのアンケート調査を実施する。調査の概要については、今後国から示される指針に従って実施するものである。

また、平成32年度（2020年度）からスタートする次期事業計画のなかに放課後子ども総合プランをどのように掲載していくかということも、これからの作業かと思う。これまで長野市が進めてきた長野市版放課後子ども総合プランをベースに、どの程度の需要があるのか、今後どのように人口等が推移していくか、諸々専門的に調査をした上で、今後、検討を深めてまいりたい。

委員：「長野市子ども・子育て支援事業計画 概要版」（3頁）には、「基本目標3 専門的な支援の充実」があり、障害のある子どもたちを含めてさまざまな困難性を抱えている子どもへの支援、ということが位置付けられている。一方で、「第5期長野市障害福祉計画第1期長野市障害児福祉計画 概要版」（4頁）には、「保健・医療・福祉関係者による協議体の設置」が目標に挙げられている。それらの計画はどのようにリンクしているのか。

	<p>事務局：この計画は、長野市の最上位計画である総合計画を始めとして、地域福祉計画そして障害者基本計画、その他、教育基本計画等々、市の計画との整合を図って策定している。次期計画についても同様に策定していきたい。</p> <p>事務局：障害福祉計画・障害児福祉計画者については、計画を策定する際に国から指針が出ていて、そのなかで協議体を作って、関係するネットワークからスタートするという事になっている。そのなかで、子ども・子育て支援事業計画とも整合を取りながら各事業を進めていきたい。</p> <p>委員：今後の希望として、是非その辺りの整合を取っていただいて、大きな枠の中の子育て支援というところに、きちんと障害のある子どもたちの支援が位置づけられ、数字の問題だけではなく、中身の、それを支える人材の育成、資質の向上、そういうことも含めて是非協力してやっていっていただくよう要望する。</p> <p>(3) その他 なし</p>
その他	5 その他 なし